

非がん疾患の 緩和ケアとACPの役割

—よりよい高齢者医療とケアを目指して

高齢者の非がん疾患における緩和ケアの重要性が叫ばれて久しく、WHOの統計においても、緩和ケアの対象は第一に心疾患、第二にがん、第三に呼吸器疾患であることが示されています。しかし日本においては、臨床実践の担い手はまだ少数です。そこで今回は、心不全、呼吸不全、老年症候群に対する緩和ケアの臨床の実際を先駆者から学び、汎用への課題を検討し、非がん疾患をもちつつ生きる高齢者を、その人生の最終段階まで人として尊重しつつ医療とケアを行う視点からACPについて考察します。ご一緒に考えてみませんか。

参加無料
要予約

日時：2019年3月24日（日）13:00 - 17:00

会場：東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術センター
伊藤謝恩ホール（定員480名）

開会の辞

葛谷雅文 名古屋大学大学院医学系研究科 発育・加齢医学講座 教授

座長

三浦久幸 国立長寿医療研究センター
在宅医療連携部 部長

会田薫子 東京大学 上廣死生学・応用倫理講座
特任教授

シンポジスト

弓野 大 医療法人社団ゆみの 理事長

千田一嘉 国立長寿医療研究センター 内科総合診療部
呼吸機能診療科・在宅連携医療部 医師

桑田美代子 青梅慶友病院 看護・介護開発室長
老人看護専門看護師

片山陽子 香川県立保健医療大学
保健医療学部看護学科 教授

特別発言

森田達也 聖隷三方原病院 副院長・
緩和支援治療科部長

清水哲郎 岩手保健医療大学 学長

お申し込み方法

ご参加申し込みは2019年1月中旬より上廣死生学・応用倫理講座のホームページ (<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/>) にて受付いたします。予約開始日などお申し込みに関する情報は「死生学・応用倫理センター」メルマガでご案内いたします。メルマガへのご登録は、上廣死生学・応用倫理講座ホームページ (<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dls/>) の左下の「メルマガジン登録」からお願いします。